

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・インテリア装備		単位数	2	単位	履修年次	2	年
目 標	・ 建築やインテリアを構成する材料の種類とその特性を理解する。							
使 用 教 材	【教科書】インテリア装備（東京電機大学） 【副教材】自作教材（プリント）							
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技能 建築・インテリアについての基礎的・基本的な知識を身につけ、その内容をさらに深く理解できている。建築・インテリアについて、力学的・法的側面から、その特性や種類を的確に表現できる能力が身についている。	思考・判断・表現 構造、設備、法規に関する基礎や基本について思考を深め、実習等で応用する際の適切な判断力と創意工夫する能力が身についている。建築・インテリアについて、力学的・法的側面から、その特性や種類を説明できる能力が身についている。	主体的に学習に取り組む態度 建築・インテリアに関する構造や施工法に関心を持ち、それらに関連する知識や理解を意欲的に深めようとする態度が身についている。					
評 価 方 法	目標を踏まえ、教科に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等、総合的に判断し評価します。							
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い					
1 学期	建築の構造 ・ 木構造 ・ 鉄骨構造 ・ 鉄筋コンクリート構造		・ 代表的な建築の構造（木、鉄骨、鉄筋コンクリート）の建築の様々なメリット、デメリットとともに性質や特徴を学習します。また構造そのものについての知識を身に付け建築について理解を深める。					
2 学期	構造の力学 ・ 構造物と力 ・ 部材の断面 建築設備と設備機器		・ 建築やインテリアに係る様々な力について理解し、実習等の授業で適切な判断や工夫ができるようになる。 ・ 室空間を快適な環境にするための建築設備について理解する。					
3 学期	関係法規 ・ 居住環境について ・ 各種法規について （建築基準法、消防法など）		・ 人が安全に暮らせる環境とはどんなものかを理解する。 ・ 様々な関係法規について学習し、特に安全について考慮した思考を深める。					
学 習 上 の 留 意 点	・ 予習と復習をしっかりし、日々の授業を大切にしてください。 ・ 与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（工芸デザイン科）・デザイン材料		単位数	2	単位	履修年次	2	年
目 標	・デザイン材料及びその加工に関する基礎的な知識と技術を習得し、使用目的に応じて適切な材料を選択する能力と態度を養う。							
使 用 教 材	【副教材】デザイン材料(東京電機大学)、デザイン実践（実教出版）、自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	デザイン材料の特性とその加工方法を知り、デザインの発想の段階から材料の選定について考えることの必要性を理解し、デザイン材料の選択基準を身につけている。デザイン材料に関する基礎的な知識と技術を使い、使用目的に応じた材料を適切に選択する能力を身につけている。		デザイン材料に関する基礎的・基本的な知識について思考を深め、デザインをする上で必要な材料を、使用目的に応じて適切に判断する力を身につけている。デザイン材料に関する基礎的な知識と技術を使い、よりすぐれたデザインを生むための感性を身につけている。		デザイン材料に関する基礎的・基本的な知識に関心を持ち、すぐれたデザインを生むための創造的、実践的な態度を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン材料に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等、総合的に判断し評価します。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	私たちの生活と材料 材料の種類 ・有機材料 木材、プラスチック、紙、皮など ・無機材料 金属、ガラス、セラミックなど ・新素材			・毎日の生活を支えている製品がさまざまな材料からできていることに気づき、それら材料の種類と利用法を知る。				
2 学期	材料とデザインの関係 ・デザイン実践 すぐれたデザインを生むために ・企画の開発 ・社会のニーズ ・デザインワークでの留意点 ・製品の追跡調査			・材料とデザインの関係を考え、実践的にデザインについて考察する。 ・デザイン思考をしっかりと学ぶことにより、最終的に素材との関係性を理解し、素材選びについての考察力を身につける。				
3 学期	紙媒体とデザイン ・紙素材の加工技術について			・身近な紙媒体についてのデザイン（ビジュアルデザイン、書物、パッケージデザイン）について考える。				
学 習 上 の 留 意 点	・与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。 ・予習と復習をしっかりし、日々の授業を大切にしてください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・デザイン実践		単位数	2	単位	履修学年	2	年
目 標	・課題を通して、ものを見るための感性を伸ばし、深く物事を観察する力や想像力を養う。 ・的確にものの形や色を把握し、表現することができる。 ・基礎表現力・技術を身につけ、デザイン表現に意欲関心を持つ。							
使 用 教 材	【教科書】デザイン実践（実教出版） 【副教材】自作教材（プリントなど）							
評価の観点・評価規準	知識・技能 作品を鑑賞する視点と制作技法を理解し、自己作品と比較検討ができる。		思考・判断・表現 課題作品のテーマやその表現方法を的確に理解・判断し、芸術的な感性により、独創性のある世界を構築している。 課題作品の制作において、道具や材料の特性を工夫しながら、自分の表現を実現している。		主体的に学習に取り組む態度 課題作品のテーマに関心を持ち、テーマの内容を的確に把握して、美術的な創作活動に積極的に取り組んでいる。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン実習に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「知識・理解」については、日々の授業を中心に評価を行い、「技能・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	・平面構成の要素とその技術の学習 ・点と線と面 ・幾何学形体と立体 ・自然形態と人工形態 ・平面構成作品1の制作(無彩色・烏口の使用)			・シンメトリーとバランスについてテーマを与え、実技を通してデザイン感覚を養う。 ・点と面、線と面の感覚を通じ、平面構成に使用する要素について学習する。 ・「立体」を幾何学形体の移動や回転による軌跡ととらえ、平面構成の発想力を養う。 ・形態からデザイン要素を収集し、「便化(びんか)」によってデザイン化する技術と感覚を身につける。 ・学習した技術の応用として、与えられた課題について、自らイメージした表現を行う力を身につける。				
2 学期	・平面構成作品2の制作(不透明水彩絵の具)ビジュアルデザイン ・ポスター等デザイン作品の制作			・材料の使い方の工夫など、平面的な表現力を身につける。 ・ポスターなど(その他マーク、ラベル等)の制作を通じ、自らイメージしたものを表現できる力を養う。また、手描きの作品をP C (Photoshop、Illustrator)を活用することによりさらに表現力を磨く。				
3 学期	・作品鑑賞			・鑑賞力を身につけ感性を高め、美術および工業デザインについて理解を深め、個性豊かな能力を高める。				
学 習 上 の 留 意 点	・自分の作品の完成度を追及するには、授業中の集中力が必要です。 ・必要な資料、用具等は、事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってもらいます。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】工業（建築デザイン科）・工業情報数理		単位数	2	単位	履修年次	2	年
目 標	・工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を育成することを目指す。							
使 用 教 材	【教科書】工業情報数理（実教出版） 【副教材】自作教材（プリント）							
評価の観点・評価規準	知識・技術 情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。		思考・判断・表現 諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。		主体的に学習に取り組む態度 情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、各定期考査の成績、プリント・製作物等の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。							
学 期	学 習 内 容				学 習 の ね ら い			
1 学期	第1章 産業社会と情報技術 1 節 コンピュータの構成と特徴 2 節 情報化の進展と産業社会 3 節 情報化社会の権利とモラル 4 節 情報のセキュリティ管理				・情報・情報処理・データ・情報化社会などの用語を理解する。 ・情報化社会で守るべきモラルについて、情報技術を利用して法的な根拠について理解する。 ・情報の不正利用の技術的な防止方法を調査を行う。 ・情報機器作業時の健康障害を防止する方法を理解する。			
2 学期	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 節 コンピュータの基本操作 2 節 ソフトウェアの基礎 3 節 アプリケーションソフトウェア				・キーボードやマウスを扱う技術を習得する。 ・記憶装置の種類と特徴を理解し、扱う技術を習得する。 ・アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作などの技術を習得する。 ・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技術を習得する。			
3 学期	第9章 情報技術の活用と問題の発見・解決 1 節 マルチメディア 2 節 プレゼンテーション 3 節 文書の電子化 4 節 問題の発見・解決				・マルチメディア機器やマルチメディアソフトウェアの操作に関する技術を習得する。 ・データの圧縮と伸張について理解する。 ・情報収集のための機器の操作に関する技術を習得する。 ・プレゼンテーションに必要な機器やソフトウェアの操作に関する技術を習得する。 ・発表時の話法などの技術を習得する。 ・問題点を解決するための適切な手順や方法を選択して、実行する技術を習得する。			
学 習 上 の 留 意 点	・予習と復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・実習		単位数	4	単位	履修学年	2	年
目 標	・印刷物や日用品等のデザインなどに関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・作品の創作を通して、知識や技術を実際に活用する能力や思考力を養う。 ・デザインを通して、創作に取り組む主体的な態度を養う。							
使 用 教 材	【副教材】 高校生の美術 1（日本文教出版） デザイン実践（実教出版） デザイン製図（実教出版） 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	課題作品の分析等を通して、その特徴や表現方法を理解できている。道具や材料の特性を工夫しながら、課題作品を制作する技術がある。		課題作品のテーマや条件に対しての合理的な問題解決ができている。課題作品の制作において、的確な表現ができている。		課題作品のテーマに関心を持ち、テーマの内容を的確に把握して、創作デザインに積極的に取り組んでいる。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン実習に対する「関心・意欲・態度」と「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	デザイン表現技法Ⅰ ・スケッチの種類と目的（サムネイル、ラフ等） スケッチ作品とクロッキー作品の表現法 ・鉛筆によるデッサンの基礎技法			・実際の課題等を通して、アイデアを視覚化し、まとめるためのスケッチやクロッキーの技法を身につける。 ・鉛筆による表現技法の特性やその使用方法を理解して、モチーフを的確に表現する方法を身につける。				
2 学期	・彩色による物体の表現基礎技法 デザイン表現技法Ⅱ			・モチーフを水彩絵の具を使用して描き、透明水彩絵具と不透明水彩絵具の相違点や特性を基礎的表現技法とともに理解する。 ・三面図から立体作品を制作する表現技術を身につける。				
3 学期	・立体表現の基礎技法 ・油絵の具による物体の表現技法			・立体用素材（粘土、紙、木材など）の特性を理解し、加工技術を身につける。 ・油絵の具の特性を理解して基礎的な表現技法を習得し、生涯教育の一つにすることを目的とする興味付けを行い、絵画作品を制作して実習作品展に展示発表する。				
学 習 上 の 留 意 点	・作品の完成度を追及するには、授業中の集中力が必要です。 ・制作に必要な材料や道具等を事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・実習		単位数	4	単位	履修年次	2	年
目 標	・木材加工で使用する機械や工具の使用法と特徴を理解し、安全な加工技術を身につける。 ・家具、什器の製作を通して木工技術を身につける。 ・家具、建具、内装や什器などの製作を通して、作業の工程や安全性について理解し、実践する。							
使 用 教 材	【副教材】 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技術 ・木材加工に必要な知識を学んだか。 ・加工技術と構造を理解することができたか。 ・木材加工の技術を身に付けたか。 ・状況に応じた加工方法や技術を考える能力があるか。		思考・判断・表現 ・構造、加工の方法を工夫できるか。 ・使用者の立場で家具の構造や製作を考えることができるか。 ・合理的な加工手順・方法を考えることができるか。		主体的に学習に取り組む態度 ・木材加工に興味、関心があるか。 ・家具、什器の製作方法を考える意欲があるか。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、生産実習に対する「関心・意欲・態度」、「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	箱物家具の製作 ・合板構造と引き出しの学習 ・家具図面の読み方 ・部品表、部品図の作成 ・木取り図の作成 ・木取寸法表の作成 ・歩留まりを考える			・箱物家具の構造について理解する。 ・枠芯合板の仕組みについて理解する。 ・グループ作業の中で、仕事の分担の方法や、協力し合うことの大切さを知る。 ・無駄のない材料取りの方法を考える。				
2 学期	・部品加工の順序と実際 ・組み立ての実際 ・塗装の実際 脚物家具の製作 ・家具図面の読み方 ・部品表の作成 ・部品図の作成 ・木取寸法表の作成 ・木取と機械の扱い方 ・部品加工の順序と実際			・合理的な部品の加工方法について学習する。 ・部品加工から完成までの工程を学び、実際に加工できる知識と技術を身につける。 ・読図し、作業計画、作業工程表を作成し、木取り加工、部品加工、組み立て、塗装までの工程について学ぶ。 ・実際に設計図書を作成し、木材加工する知識と技術を身につける。				
3 学期	・組み立ての実際 ・塗装の実際			・塗装の工程や塗料の特徴などについて学習し、塗装に関する知識を身につけると共に、効率的に塗装できると技術を身につける。				
学 習 上 の 留 意 点	・集中して授業に取り組み、丁寧な製品製作と怪我の防止に努めてください。 ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 ・日々の授業を大切に、計画性を持って取り組んでください。							

年間授業計画（シラバス）

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・製図		単位数	3 単位	履修年次	2 年
目 標	・デザイン製図についての基礎的な知識や技術の習得を通して、プロダクト製品やクラフト作品などのデザイン、設計、プレゼンテーション等に応用できる能力を身につける。					
使用教材	【教科書】デザイン製図（実教出版） 【副教材】自作教材（プリント）					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・評価規準	製図に関する規格や技法などの基礎について理解し、実際にプロダクト製品やクラフト作品を表現する知識を身につけている。図面作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、デザインした製品を的確に図面等で表現できる能力がある。		図面作成課程において、効率的かつ正確な作成を重視する思考をすると共に、適切に表現するための判断力を身につけている。		設計製図に関心を持ち、プロダクト製品やクラフト作品などを根気強く図面で表現する意欲と態度を身につけている。	
評価方法	目標を踏まえ、製図に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」については、日々の授業を中心に評価を行う。「技能・表現」については作品等を中心に評価し、「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行う。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査などを総合的に判断して評価する。					
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		
1 学期	製図の基礎 ・機械部品の三面図（三角法） ・機械部品の斜投影図法 ・機械部品の等角図法 プロダクト製品の図面 ・スツールの構造図 ・スツールの構造分解説明図			・簡単な機械部品の三面図を描く知識と技術を身につける。 ・斜投影図法などの図法を用いて、立体物を的確に2次元で表現する知識と技術を身につける。 ・プロダクト製品の構造図と構造分解説明図を正確かつ的確に作成する技術と表現力を身につける。		
2 学期	・有角及び平行透視図法の基礎 ・透視図法の解説と演習 ・プロダクト製品の透視図 レンダリング ・レンダリングの概要 ・陰影の表現 ・材質の表現 ・製品のレンダリング CADによる作図 ・CADの基礎 ・簡単な製品の構造図の作成			・有角及び平行透視図法の表現法を学習し、幾何学形態や簡単なプロダクト製品の透視図（完成予想図）を描く知識と技術を身につける。 ・プロダクト製品やクラフト作品の三面レンダリングとパースレンダリングをさまざまな画材を用いて作成する知識と技術、表現力を身につける。 ・CADの基本的な操作を学習し、簡単なプロダクト製品の図面を描く知識と技術を身に付ける。		
3 学期	プロダクト製品の設計とプレゼンテーション ・製品のデザインと設計（プレゼンテーションボードの制作） ・プレゼンテーション			・総合的にプロダクト製品の設計について学習し、デザイナーに必要な表現力とプレゼンテーション能力を身につける。		
学習上の留意点	・欠席をした場合は、必ず授業内容を確認し、追いつく気持ちが必要です。 ・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。					

年間授業計画（シラバス）

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・製図		単位数	3 単位	履修年次	2 年
目 標	・ インテリア・建築製図についての基礎的な知識や技術の習得を通して、家具や建築のデザイン、設計、プレゼンテーション等に応用できる能力を身につける。					
使用教材	【教科書】 インテリア製図（実教出版） 【副教材】初めての建築製図（学芸出版社）、自作教材（プリント）					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
・ 評価規準	製図に関する規格や技法などの基礎について理解し、実際に家具や建築物を表現する知識を身につけている。 図面作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	図面作成課程において、効率的かつ正確な作成を重視する思考をすると共に、適切に表現するための判断力を身につけている。立体や三次元空間を的確に図面等で表現できる。	設計製図に関心を持ち、家具や建築物を根気強く図面で表現する意欲と態度を身につけている。			
評価方法	目標を踏まえ、製図に対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」については、日々の授業を中心に評価を行う。「技能・表現」については作品等を中心に評価し、「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行う。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査などを総合的に判断して評価する。					
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1 学期	製図の基礎 ・ 簡単な製品の三面図（三角法） ・ 簡単な製品の斜投影図法 ・ 簡単な製品の等角図法 家具・建築図面 ・ 家具、建築の構造図、部品図		・ 簡単な部品の三面図を描く知識と技術を身につける。 ・ 斜投影図法などの図法を用いて、立体物を的確に2次元で表現する知識と技術を身につける。 ・ インテリア・建築エレメントの構造図と部品図を正確かつ的確に作成する技術と表現力を身につける。			
2 学期	CADによる作図 ・ CADの基礎 ・ 簡単な製品の構造図の作成 有角透視図法の基礎 ・ 透視図法の解説と演習 ・ 家具・建築の透視図 平行透視図法の基礎 ・ 透視図法の解説と演習 ・ 幾何学形態の透視図		・ CADの基本的な操作を学習し、簡単なプロダクト製品の図面を描く知識と技術を身に付ける。 ・ 有角透視図法の表現法を学習し、幾何学形態や家具・建築物等の透視図（完成予想図）を描く知識と技術を身につける。 ・ 平行透視図法の表現法を学習し、幾何学形態を描く知識と技術を身につける。			
3 学期	平行透視図法の応用 ・ 陰影図法の解説と演習 ・ 住宅室内・建築物の透視図作成 透視図の着色 ・ 室内・建築パースの着色		・ 平行透視図法と陰影図法を用いて住宅室内、建築物の外観図を描く知識と技術を身につける。 ・ 平行透視図法を用いて作成した室内や建築パースに色を付けて表現する方法を学習する。			
学習上の留意点	・ 欠席をした場合は、必ず授業内容を確認し、追いつく気持ちが必要です。 ・ 復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・ 与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・建築構造		単位数	2	単位	履修年次	2	年
目 標	・建築物の構造および建築材料に関する基礎的な知識と技術・技能を学習し、実際に活用する能力と態度を身に付ける。							
使 用 教 材	【教科書】建築構造(実教出版)							
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	建築構造の基礎的な知識を身に付け、建築構造の意義を理解している。 基礎的な知識を身に付け、建築構造についての的確に表現する能力を身に付けている。	基礎的な知識と技術を身に付け、建築構造についての的確な判断ができている。 身近にある建築物と関連させ、仕組みや性質などを深く知ろうとする。 建築構造の視点で図面等の表現する力を備えている。			建築物の構造および建築材料についての関心を深め、知ろうとする意欲と主体的に取り組む力を身に付けている。			
評 価 方 法	各定期考査の成績、ノート・プリント・製作物等の提出状況・授業態度などを総合的に評価。							
学 期	学 習 内 容				学 習 の ね ら い			
1 学期	建築構造のあらまし ・建築構造の歴史、なりたち、分類 ・建築物に働く力、関連法規 木構造 ・木材の性質				木構造の構造材料となる木材の特質と、この構造の特徴と利点・欠点等を学習しながら、知識、技術を習得する。 木構造の基礎・柱・梁・壁の構造とその特徴について学習しながら、知識、技術を習得する。			
2 学期	・構造の特徴と構造形式 鉄筋コンクリート構造 ・鉄筋、コンクリートの性質 ・構造の特徴と構造形式				構造形式や骨組の構成を理解し、部材とその接合方法について学習しながら、知識、技術を習得する。 鉄筋コンクリート構造・鋼構造の構造材料となる鉄筋とコンクリートの特質と、この構造の特徴と利点・欠点を学習しながら、知識、技術を習得する。			
3 学期	鋼構造 ・鋼材の性質 ・構造の特徴と構造形式				鉄筋コンクリート構造・鋼構造の基礎・柱・梁・壁の構造とその特徴について学習しながら、知識、技術を習得する。 構造形式や骨組の構成を理解し、部材とその接合方法について学習しながら、知識、技術を習得する			
学 習 上 の 留 意 点	・予習と復習をしっかりし、日々の授業を大切にしてください。 ・集中して授業に取り組み、丁寧な製品製作と怪我の防止に努めてください。 ・与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース） インテリアエレメント生産		単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	・インテリアエレメントの構造、生産技術、生産管理に関する全般的な知識を習得する。 ・技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身につける。					
使 用 教 材	【副教材】インテリアエレメント生産（海文堂）					
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	インテリアエレメントの生産に関する基礎的・基本的知識と技術を身につけ、工業の発展と環境との調和の取れたあり方や現代社会におけるインテリアエレメント生産の意義や役割を理解している。	インテリアエレメントに関する基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、安全に環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理すると共に、その成果を的確に表現することができる。	インテリアエレメントの生産について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、インテリアエレメント生産に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」、「知識・理解」、「技能・表現」については提出物と定期考査を中心に評価を行います。					
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1 学期	材料と加工 ・木材、金属、プラスチック等 木材加工の基礎 ・木材の切削 ・木材加工の概要		・建築、インテリアに関する材料について、その性質や特徴などの知識、技術を身につける。 ・建築、インテリアに関する材料の加工法についての知識、技術を身につける。 ・切削に関する基礎的な知識を身につけます。 ・木材の切断、切削、成形、接合、穿孔、研削、塑性の各加工についての基礎的な知識を身に付けます。			
2 学期	・組立て インテリアエレメントの構造 ・家具 ・建具 ・窓回り部品、壁装材料、照明器具		・木工製品の組立てについて基礎的な知識を身に付けます。 ・家具の分類、各家具の構造について基礎的な知識を身に付けます。 ・建具の分類、各家具の構造について基礎的な知識を身に付けます。			
3 学期	生産技術・生産管理		・その他インテリアエレメントの分類、構造について基礎的な知識を身に付けます。 ・家具の生産技術・生産管理についての基礎的な知識を実践を含めて身につけます。			
学 習 上 の 留 意 点	・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 ・予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・インテリア装備		単位数	2	単位	履修年次	3	年
目 標	・ 建築やインテリアを構成する材料の種類とその特性を理解する。							
使 用 教 材	【教科書】 インテリア装備（電機大） 【副教材】 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	建築・インテリアについての基礎的・基本的な知識を身につけ、その内容をさらに深く理解できている。	構造、設備、法規に関する基礎や基本について思考を深め、実習等で応用する際の適切な判断力と創意工夫する能力が身についている。また、力学的・法的側面から、その特性や種類を的確に表現し説明できる能力が身についている。			建築・インテリアに関する構造や施工法に関心を持ち、それらに関連する知識や理解を意欲的に深めようとする態度が身についている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、教科に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、5回の定期考査等、総合的に判断し評価します。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	建築の構造 ・ 木構造 ・ 鉄骨構造 ・ 鉄筋コンクリート構造 インテリアの施工法 ・ 床や壁、天井の仕上げ ・ 開口部や階段			・ 建築の様々な構造についての知識を身に付けそれぞれの材料や構造の特性について理解を深める。 ・ 建築構造との関係を理解しながら、様々なインテリアの施工法について知識を深める。				
2 学期	・ 造作、管理について 構造の力学 ・ 構造物と力 ・ 部材の断面 建築設備と設備機器			・ より良い品質の施工を行うため、様々な面からの管理について知る。 ・ 建築やインテリアに係る様々な力について理解し、実習等の授業で適切な判断や工夫ができるようになる。 ・ 室空間を快適な環境にするための建築設備について理解する。 ・ 人が安全に暮らせる環境とはどんなものかを理解する。				
3 学期	関係法規 ・ 居住環境について ・ 各種法規について (建築基準法、消防法など)			・ 様々な関係法規について学習し、特に安全について考慮した思考を深める。				
学 習 上 の 留 意 点	・ 予習と復習をしっかりとし、日々の授業を大切にしてください。 ・ 与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・デザイン材料		単位数	2 単位	履修年次	3 年
目 標	・デザイン材料及びその加工に関する基礎的な知識と技術を習得し、使用目的に応じて適切な材料を選択する能力と態度を養う。					
使 用 教 材	【教科書】デザイン材料（海文堂） 【副教材】デザイン実践（実教）、自作教材（プリント）					
評価の観点 ・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	デザイン材料の特性とその加工方法を知り、デザインの発想の段階から材料の選定について考えることの必要性を理解し、デザイン材料の選択基準を身につけている。また、デザイン材料に関する基礎的な知識と技術を使い、使用目的に応じた材料を適切に選択する能力と、よりすぐれたデザインを生むための感性を身につけている。		デザイン材料に関する基礎的・基本的な知識について思考を深め、デザインをする上で必要な材料を、使用目的に応じて適切に判断する力を身につけている。		デザイン材料に関する基礎的・基本的な知識に関心を持ち、すぐれたデザインを生むための創造的、実践的な態度を身につけている。	
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン材料に対する「関心・意欲・態度」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断」「表現・能力」「知識・理解」は、定期考査を中心に評価を行います。 具体的には、日々の授業態度、提出物の状況、定期考査等、総合的に判断し評価します。					
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			
1 学期	木材 ・ 私たちの生活と材料 ・ 樹種と一次加工 ・ 木質材料 ・ 木材の二次加工とデザイン		・ 生活と木材、木質材料とのかかわりを知って、木材の種類と特性・木質材料の性質などについて学び、その加工方法を理解して製品への 利用方法や使い方を理解する。 ・ 毎日の生活を支えている製品がさまざまな材料からできていることに気づき、特に紙の種類や利用法、繊維製品の種類と室空間への使われ方と、アパレル材料としての利用とデザインについて理解する。また、皮革製品のデザインと加工法などを理解する。 ・ ポスターカラーによるテクスチュア表現技法を理解し、実際に材質感の表現を実践する。			
2 学期	その他有機材料 ・ 紙 ・ 繊維 ・ 皮革 ・ デザインによる材質表現技術と実践					
3 学期	・ 絵の具と表現素材の関係 ・ デザインの技術と実践 ・ デザイン材料のまとめ		・ 透明水彩絵の具、不透明水彩絵の具、油絵の具等の表現素材の特徴を理解する。 ・ 石膏や木材などの表現素材の特徴を理解する。			
学 習 上 の 留 意 点	・ 与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。 ・ 予習と復習をしっかりし、日々の授業を大切にしてください。					

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・デザイン実践		単位数	4	単位	履修学年	3	年
目 標	・デザインに関する基礎的な知識と技術を習得して、実際に創造し表現する能力と態度を身につける。							
使 用 教 材	【教科書】デザイン実践（実教） 【副教材】自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	デザインや造形をするのに必要な知識をもっていると共に、デザインが人間の生活に与える良さや美しさを理解し、制作に活かす技術を身につけている。	デザインの基礎的・基本的な知識と技術を活用し、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。個性豊かで創造的な表現をするとともに、造形の原点的視点で効果的な表現方法を追求して表現できる。			デザインや造形を愛好し、デザイン文化に関心と課題意識を持ち、個性豊かに表現するとともに、造形の原点的視点で課題に取り組む姿勢を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザインに対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「知識・理解」については、日々の授業を中心に評価を行います。「技能・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	ものの見え方と感じ方 ・デザインの要素			・ものの見え方、感じ方が色彩や大きさ、形態、質感などの組み合わせによって違ってくることを理解します。 ・実際の制作を通して、様々な要素を多面的に捉え、デザインする能力を養います。				
2 学期	ものの発想 ・発想の要素			・「ものの見え方」で発見したことをもとに「ものを発想する技術」を身につけます。 ・ものを発想するために、身の回りのあらゆるものがヒントになっていることに気づくとともに、発想のための資料収集が大切であることを理解します。				
3 学期	デザイン企画とプロデュース ・製品販売までに必要な要素を学ぶ			・ターゲットを決めてニーズを明確にします。 ・商品コンセプトを決定します。 ・コンセプトに合わせた本質を伝えるデザインを決定します。 ・プロモーションの計画を立てます。				
学 習 上 の 留 意 点	・アイデアスケッチ→ラフスケッチ→デザイン画の順に作成を行い、最終計画を立てていきます。 ・提出期限を守り、より質の高い作品を提出させることを目的とします。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	美術（デザインコース）・ビジュアルデザイン		単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	・視覚的なデザインに関する知識と技術を習得して、実際に創作するための能力と態度を身につける。							
使 用 教 材	【副教材】高校美術Ⅰ（日本文教出版） デザイン実践（海文堂） 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	ビジュアル表現の様々な技法や素材などの知識を持っている。また、それらが人間の心理に及ぼす影響を理解し、想定する能力を身に付けている。ビジュアル表現の様々な技法の中から、それぞれのアイデアに適した表現をする技術を身に付けている。		ビジュアル表現の基礎的・基本的な知識と技術を活用し、適切に判断し、独創的な表現をバランスよく構成する能力を身につけている。ビジュアル表現の様々な技法の中から、それぞれのアイデアに適した表現を選択することができる。		視覚的なデザインや芸術作品を愛好し、伝達表現の手法に関心と課題意識を持っている。また、個性豊かな表現をするために積極的に課題に取り組む姿勢を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザインに対する「関心・意欲・態度」と「思考・判断」、「知識・理解」については、日々の授業を中心に評価を行います。「技能・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	視覚伝達の技法と効果 ・文字や形態による色彩構成 ・コンピュータによるビジュアルデザイン			・文字や形態の色、構成、意味の違いによる制作を行い、伝達のされ方にどのような違いが生まれるかを知る。 ・フォトショップやイラストレーターを使った制作を通し、「やり直し」が利く作業の中で、アイデアを練り上げることを知る。				
2 学期	変化による伝達の違い ・変形による作品制作 ・動画やアニメによる作品制作			・実際の課題制作を通し、変化の違いがどのように視覚効果として現れるかを知り、変化が生み出す表現を自ら考える能力を身に付ける。				
3 学期	効果的なビジュアル表現 ・広告やラベルの制作			・これまでの学習内容を応用し、ポスターや吊り広告、雑誌や新聞広告の制作を通して効果的な視覚伝達を理解する				
学 習 上 の 留 意 点	・与えられた課題は、期日を守り必ず提出してください。 ・日々の授業に対する取り組みを大切にしてください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】工業（デザインコース）・課題研究		単位数	3	単位	履修学年	3	年
目 標	・物事を観察することで、見るための感性を伸ばし、想像力を養う努力をする。 ・ものの形や色を把握し、的確に表現することができる。 ・表現力やデザインの技術を身につけ、デザイン制作や美術作品に意欲的に取り組む。							
使 用 教 材	【副教材】 高校美術Ⅰ（日本文教出版） デザイン実践（海文堂） デザイン製図（実教） 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技術	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	作品を鑑賞する視点と制作技法を理解し、自己作品と比較検討ができる。	課題作品のテーマやその表現方法を的確に理解・判断し、芸術的な感性により、独創性のある世界を構築している。また課題作品の制作において、道具や材料の特性を工夫しながら、自分の個性を生かした表現ができる。			課題作品のテーマに関心をもち、テーマの内容を的確に把握して、美術的な創作活動に積極的に取り組んでいる。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン実習に対する「関心・意欲・態度」と「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行う。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	プレゼンテーションの技法 ・作品コンセプト 造形技術の基礎 ・小作品やマケット制作 ・陶芸による立体造形			・様々な製品や作品を調べ、自分の表現したい作品を見つけ、また参考にする。 ・卒業制作に向けての構想を考える。 ・プレゼンテーションの技術を身につける。 ・卒業制作に向け、政策を通して自分の選んだジャンルにおける知識や技術を身につける。 ・陶芸による立体表現を行う。				
2 学期	卒業制作 ・大規模作品の制作 ・プレゼンテーションの技法			・自らイメージしたものを、用意した材料を基に大規模な造形作品に仕上げる。イメージする力や、材料の使い方の工夫など立体的な造形力を身につける。 ・自らの制作作品を評価し、相手に伝える技術を磨く努力をする。				
3 学期	作品鑑賞			・鑑賞力を身につけ、感性を高め、美術・デザイン文化について理解を深め、個性豊かな表現力を高める。				
学 習 上 の 留 意 点	・自分の作品の完成度を追及するには、授業中の集中力が必要です。 ・必要な材料等は、事前に準備する計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってもらいます。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】工業（建築・インテリアコース）・課題研究		単位数	3	単位	履修学年	3	年
目 標	・インテリアに関する学習課題を設定し、製作、学習することで、専門的な知識と技術を身につけるとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。 ・市場調査から販売までの過程を学び、実社会におけるものづくりについての理解を深める。							
使 用 教 材	【副教材】インテリアエレメント生産（海文堂）、自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	製品デザインから図面製作,木材加工に至る過程を理解し、木材加工について技術、知識を身につけている。 生産技術を理解し、製作できる知識を身につけている。		製品の考案から製作に至る過程を、計画的に実践する態度を身につけている。		使う人にあったものづくりについて関心を持っている。 意欲的に取り組み、実践的に協働する態度を身につけている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、課題研究に対する「関心・意欲・態度」と「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行う。具体的には、日々の授業態度、作品等をもとに総合的に判断し評価する。							
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い					
1 学期	使い勝手の良いものづくり ・調査，研究 ・設計図書の作成 ・製作計画 ・木取り加工		・基本調査から製品完成までの過程を学ぶ。 ・使い手や消費者の立場になってアイデアを発想する。 ・班別学習し互いに意見を出し合って設計を行うと共に、「ものづくり」を学ぶ。					
2 学期	・部品加工 ・組立加工		・製品の材質を考え加工し、木材加工技術を身につける。 ・部品加工技術を身につける。					
3 学期	・塗装加工、養生 ・完成、納品（設置） ・まとめ ・展示即売会		・塗装技術を身につける。 ・完成させた製品の木取り寸法表などの資料をまとめる。 ・完成作品を地域に向けて販売することで、ものづくりのよろこびを体感する。					
学 習 上 の 留 意 点	・集中して授業に取り組み、丁寧な製品製作と怪我の防止に努めてください。 ・班での活動では、積極的に自分の意見や考えを伝えてください。 ・自分と違う価値観があることを理解し、他者の意見や考えを尊重する姿勢を持ってください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・建築施工		単位数	4	単位	履修年次	3	年
目 標	・ 建築施工および建築材料に関する基礎的な知識と技術・技能を学び、実際に活用する能力と態度を習得する。							
使 用 教 材	【教科書】 建築施工(実教出版)							
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	基礎的な知識と技術が身に付いていて、建築生産技術の意義や役割が理解できている。また、建築現場を観察し、実務的な技能が理解できている。	基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、諸問題を適切に判断することができている。また、身につけた知識をもとに、建築施工についての確に表現する能力を身に付けている。			建築物の施工および建築材料についての基礎的な知識と技術について関心があり、その習得に意欲を持ち、実践的な態度が身に付いている。			
評 価 方 法	各定期考査の成績、ノート・プリント・製作物等の提出状況・授業態度などを総合的に評価。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	1. 建築施工のあらまし ・ 建築施工にたずさわる人々 ・ 建築工事の流れ 2. 工事の準備 ・ 地盤と敷地の調査・確認 ・ 仮設工事 3. 地面から下の工事 ー土工事および杭・事業工事ー			建築工事の一般的な工程順序や、建築施工、建築材料に係わる知識、技術を身につける。 建築生産と他の製造業とを比較して、その受注および生産方式における特徴の違いを十分に理解する。さらに、建築生産過程の最終段階にあたる建築施工の目的・特徴と種類・地域や社会環境への影響などを把握する。				
2 学期	4. 木構造の工事 5. 鉄筋コンクリート構造の工事 6. 鋼構造の工事 7. 建築物の保全			建築工事の一般的な工程順序や、建築施工、建築材料に係わる知識、技術を身につける。 各構造種の工事にはどのような種類があるかを理解し、建築物の維持保全にはどのような意味合いがあるかを理解する。				
3 学期	8. 解体と環境保全 9. 建築の業務、積算			施工者の選定から工事契約、施工管理への流れの概要および、建築業務、建築積算についての基礎的な知識を理解する。				
学 習 上 の 留 意 点	・ 予習と復習をしっかりし、日々の授業を大切にしてください。 ・ 集中して授業に取り組み、丁寧な製品製作と怪我の防止に努めてください。 ・ 与えられた課題は、期日を守って必ず提出してください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（デザインコース）・実習		単位数	3	単位	履修学年	3	年
目 標	・デザイン、美術、工芸などに関する知識と技術を習得する。また、デザインや芸術表現に必要な素材を知り、その扱い方を習熟する。 ・ものづくりを通して、知識や技術を活用する思考力や表現力を養う。 ・デザインを通して、作品制作に主体的に取り組む態度を身につける。							
使 用 教 材	【副教材】 高校美術Ⅰ（日本文教出版） デザイン実践（海文堂） デザイン製図（実教出版） 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価基準	知識・技術		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	作品や製品の分析等を通して、その特徴や製造方法を理解できている。		課題作品のテーマや条件に対して合理的な問題解決ができる。課題作品の制作において、道具や材料の特性を工夫しながら、的確な表現ができています。			課題作品のテーマに関心を持ち、テーマの内容を的確に把握して、デザイン活動に積極的に取り組んでいる。		
評 価 方 法	目標を踏まえ、デザイン実習に対する「関心・意欲・態度」と「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	デザインの表現技法Ⅰ ・表現の種類と目的 ・アイディアの具現化 （エスキース、レンダリングの基礎）			・デザインの課題を通して、アイディアを視覚化し、まとめるための表現力と感性を身につける。 ・レンダリングやエスキース（完成予想図）を色鉛筆やコンテ、水彩絵の具等を使用して描き、用具の特性や基礎的表現技法について理解する。				
2 学期	・様々な造形表現と素材 ・立体造形の制作（陶芸） デザインの表現技法Ⅱ ・コンピュータ表現による基礎技法 ラスタデータとベクトルデータ			・与えられた課題について、自らイメージした表現を行うために、素材や技法自らを身につけます。 ・陶芸による器の制作を体験します。 ・フォトショップ、イラストレータなどを使用し実際の表現に生かす。				
3 学期	・デザインの活用 ・卒業制作			・自分なりの課題を見つけて自主制作する。 ・プレゼンテーション能力を身につける。				
学 習 上 の 留 意 点	・作品の完成度を追及するには、授業中の集中力や自宅学習が必要です。 ・制作に必要な材料や道具等を事前に準備し、整備しておく計画性が必要です。 ・課題作品の提出期限は必ず守ってください。							

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	工業（建築・インテリアコース）・実習		単位数	3	単位	履修学年	3	年
目 標	・製品製作を通して、建築・インテリアに関する専門的な知識と技術を総合的に習得する。 ・製品製作を通して、技術革新に対応できる思考力・表現力を身につける。 ・製品製作と技術加工について主体的に取り組む態度を身に付ける。							
使 用 教 材	【副教材】 インテリアエレメント生産（海文堂）、 初めての建築製図（学芸出版社） 自作教材（プリント）							
評価の観点 ・評価規準	知識・技術		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	製品の考案から製作、評価に至る過程における基礎的な生産技術を理解し、それらを活用し、実際に製作できる基礎的な知識・技術を身につけている。		製品の考案から製作、評価に至る過程において、効率的な製作方法を思考し、創意工夫する能力を身に付けている。木材加工を行う際、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理すると共に、その成果を的確に表現する。		製品製作と加工技術について関心を持ち、完成度の高い製品製作に意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。			
評 価 方 法	目標を踏まえ、生産実習に対する「関心・意欲・態度」と「知識・技術」については、日々の授業を中心に評価を行い、「思考・判断・表現」については作品を中心に評価を行います。具体的には、日々の授業態度、作品等をもとに総合的に判断し評価します。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	脚物家具の製作 ・デザイン ・家具図面の読み方 ・読図、部品図の作成等 ・木取り加工 ・木取り寸法表 ・歩留まりを考える ・部品加工の順序と実際 ・組立ての実際 ・塗装の実際			・家具の構造図から、部品図などの設計図書を作成します。 ・デザインを考え、個性豊かな作品に仕上がるよう工夫をします。使い手のニーズにあったデザインや木材の性質を理解したうえでのデザインの大切さなどについて学習します。 ・設計図書をもとに木材を切ったり削ったりして、各部品の大きさに加工します。これまで学習した機械の操作方法や材料の性質などの知識を基にして、安全かつ正確に加工する技術を身に付けます。 ・穴を開けたり溝を突いたりして部品を作ります。これまで学習した機械の操作方法や材料の性質などの知識を基にして、安全かつ正確に加工する技術を身に付けます。 ・加工した部品を正確に組立てます。 ・塗装の目的を理解しながら作品を完成させます。これまで学習した塗装の技術や知識を活かして、製品のデザインやコンセプトに応じた塗装について学習します。				
2 学期	箱物家具の製作 ・デザイン ・家具図面の読み方 ・部品表の作成 ・部品図の作成 ・組立加工の順序と実際 ・組み立ての実際							
3 学期	・塗装の実際 木造住宅の作図			・木造住宅の構造を理解し、様々な表現法を学習する。 ・各種図面の関係を理解する。				
学 習 上 の 留 意 点	・集中して授業に取り組み、丁寧な製品製作と怪我の防止に努めてください。 ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 ・日々の授業を大切にし、計画性を持って取り組んでください。							